

観察の眼「光明池付近の観察」都市近郊の植物たちに触れあいましょう！

2020年10月30日 3班 澤田 章夫

<花の観察>



マルバアメリカアサガオ
(ヒルガオ科) 葉は互生で心形。



マメアサガオ (ヒルガオ科)
花柄は葉柄より短い。



アメリカアサガオ (ヒルガオ科)
全体に短毛があってざらつく。



ホシアサガオ (ヒルガオ科)
淡紅色の星型、ロート形の花。



ヒメジョオン (キク科)
花はヒマワリ似、花弁が細い。



クサギ (シソ科)
この時期、花も観られた。



コウヤボウキ (キク科)
頭花は筒状花のみで約2.5cm。



ツリガネニンジン (キキョウ科)
5枚の輪生する葉。



タチバナモドキ (バラ科)
なぜか枝先に一輪つける。



ワレモコウ (バラ科)
穂をつけたような赤褐色の花。



サワヒヨドリ (キク科)
頭花は淡紫色で密な散房状。



ヒメムカシヨモギ (キク科)
白い舌状花が多数並ぶ。



アキノノゲシ (キク科)
頭花は淡黄色で夕方にはしぼむ。



アキノキリンソウ (キク科)
黄色の頭花、そう果は円柱状。



メリケンムグラ (アカネ科)
小さな白い花、先端4列。



モチツツジ (ツツジ科)
通常5月、散発的に年間咲く。



ナワシログミ (グミ科)
稲の苗代の頃に果実が熟す。



ヒメクマツヅラ (クマツヅラ科)
花は直径3mmで5列した筒状。



ツルハナナス (ナス科)
星形の5弁花。



ナンキンハゼ (トウダイグサ科)
この時期に花が見られた。



イヌホオズキ (ナス科)
節間の途中から花柄4~8個の花



ミゾソバ (タデ科)
花がツバに似る、花は金平糖。



ミゾソバの開鎖花
花の開かない状態で自家受粉。



ナヨクサフジ (マメ科)
集散花序は1方向につける。



アレチハナガサ (クマツヅラ科)
穂状花穂を多数つける。



ホトケノザ (シソ科)
この時期に咲いていた。



ヒメオドリコソウ (シソ科)
温暖地域は年間通じて開花。



スズメノトウガラシ (ゴマノハグサ科)
やや太い花柄から1花、細い種子



パパイヤ (パパイヤ科)
白くて小さな花をつける。



ビワ (バラ科)
これから開花、収穫は6月。

< 果実の観察 >



ヌルデ (ウルシ科) 果実の表面は塩味有り粉にはリンゴ酸カルシウム。



ヌルデの虫瘻・虫こぶ
虫こぶの乾燥品を五倍子。



ヌルデシロアブラムシ
タンニンを含みイク・染料の材料に。



タチバナモドキ (バラ科)
果実がミカンの仲間の好バナに似。



サルトリイバラ (ガトリガラ科)
葉は互生で円形、3~5葉脈。



ノイバラ (バラ科)
球形で固い果実(偽果)が結実



ヤマノイモ (ヤマノイモ科)
種子は周囲に紙の様な薄い膜質翼。



ノブドウ (ブドウ科)
果実は熟すと光沢。



オオバヤシャブシ (カバノキ科)
枝の先から葉芽・雌花・雄花。



シラカシ (ブナ科)
葉全体に浅い鋸歯。



アラカシ (ブナ科)
葉の上半分にだけ鋸歯。



シラカシは
先端が白い

アラカシ
白くない

ドングリの違い



クヌギ (ブナ科)
長い鋸歯がある。



クヌギの虫瘻
雄花序に寄生し綿球状に肥大。



冬芽 来年のドングリ 冬芽
クヌギの冬芽とドングリ



ケウバメガシ (ブナ科)
葉の裏に毛がある。



シャシャンボ (ツツジ科)
果実は小さい球形の液果。



クロバイ (ハイノキ科)
葉は密集する。



アキグミ (グミ科)
赤色の実で球形。



カナメモチ (バラ科)
果実は球状で紅熟する。



コマユミ (ニシキギ科)
果実はさく果1~2に分果。



アカメヤナギ (ヤナギ科)
別名 マルバヤナギ



キリ (キリ科)
果実はさく果で密集する。



ナンキンハゼ (トウダイグサ科)
果実はさく果で緑色から黒に。



アキニレ (ニレ科)
果実は翼果、1cmの扁平な楕円形。



マテバシイ (ブナ科)
トングリは房状で尻がくぼむ。



シリブカガシ (ブナ科)
鋸歯はないかわずか。



タンキリマメ (マメ科)
果実は豆果で晩秋に鮮やかな赤。



クロガネモチ (モチノキ科)
赤いたくさんの果実をつける。葉身は長さ10~30cmと大きい。



ナラガシワ (ブナ科)

<秋の野草>



ヨモギ (キク科)
風媒花で多量の花粉を飛ばす。



メリケンカルカヤ (イネ科)
直立する茎、多数の穂がつく。



シナダレスズメガヤ (イネ科)
英名はウィーピング・ラブグラス



セイバンモロコシ (イネ科)
地下根茎を伸ばし群生。



イヌハギ (マメ科)
大阪府下では稀。



イヌハギの閉鎖花・丸い部分



コガンピ (ジンチョウゲ科)
草のように低木のガンピ。



アメリカセンダングサ (キク科)
果実は扁平で先に2本の棘。



ヌマトラノオ (サクラソウ科)
湿地に生える「沼虎の尾」。



イヌタデ (タデ科)
赤い小さな花と果実。



カナビキソウ (ビャクダン科)
無毛の半寄生植物。



メドハギ (マメ科)
立ち上がる多年草。



カラスノゴマ (アオイ科)
葉は卵形で先端は少し尖る。



オオオナモミ (キク科)
果実に多数の棘。



キンエノコログサ (イネ科)
穂の毛が黄色で光る。



ヨシ (イネ科)

水際に背の高い群生を形成。



エノキグサ (トウダイグサ科)

葉はエノキに似る。



ホナガイヌビユ (ヒユ科)

花穂は細長くなる。



ホウキギク (キク科)

枝先の頭花は5~6mmと小さい。



ツルヨシ (イネ科)

匍匐茎が地表を伸びる。



ハマスゲ (カヤツリグサ科)

枝の先に線形の小穂をつける。



アメリカスズメノヒエ (イネ科)

穂は太くY字。



コニシキソウ (トウダイグサ科)

踏まれて強くなる。



オヘビイチゴ (バラ科)

小葉は5小葉で卵状楕円。

<観察風景>



広場で樹木あてクイズ



ナラガシワの説明



午後の観察



ラクウショウとメタセコイアの並木



パ 休ニア植物・左からナギシバ、アマガシ、センダン